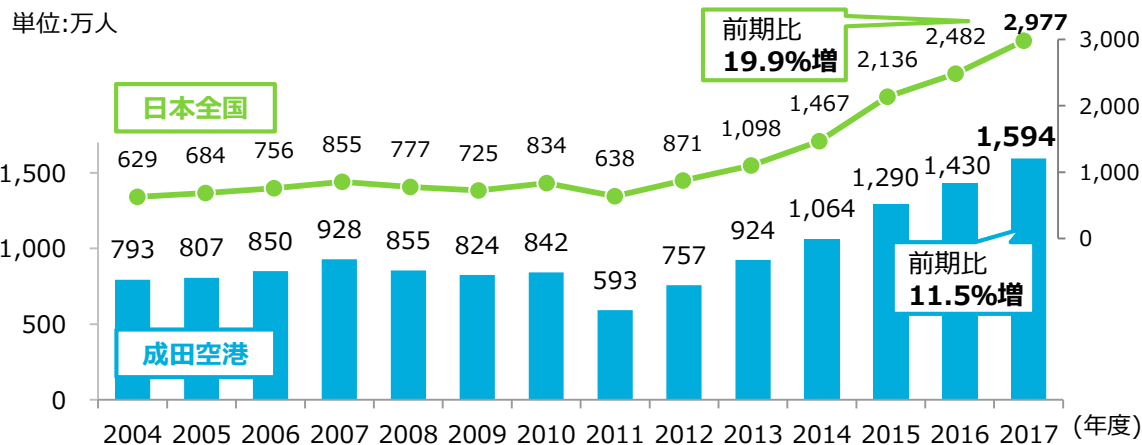


經營概況

訪日外国人の足元の動向

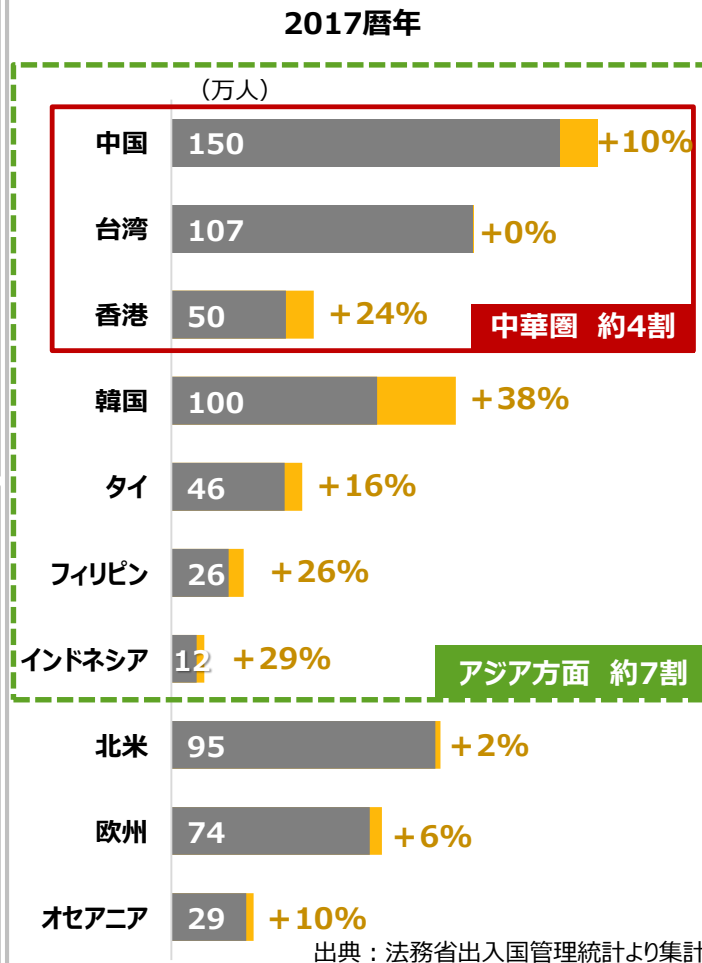
- 日本全国の訪日外国人旅行者数は航空路線の新規就航・増便や継続的な訪日旅行プロモーションの効果等により引き続き増加しており、過去最高であった2016年度を更新
- 成田空港における国際線外国人旅客数も旺盛な訪日需要や航空路線の拡充等もあり過去最高

成田空港の国際線外国人旅客数と日本全国の訪日外国人旅行者数の推移



出典：日本政府観光局 (JNTO)

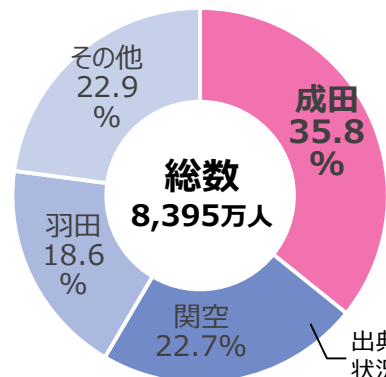
成田空港における外国人入国者数と前年同期比



出典：法務省出入国管理統計より集計

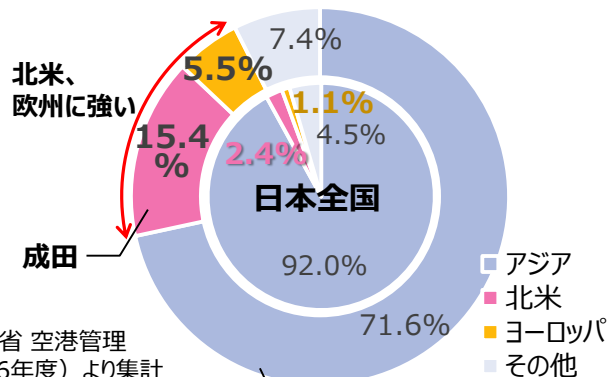
成田空港のシェアとその特徴

→ 日本全国の国際線旅客数シェア



出典：国土交通省 空港管理状況調査 (2016年度) より集計

→ 方面別便数の特徴 (外:成田空港、内:日本全国)



出典：Saber Market Intelligence (2017暦年) より作成

ネットワーク拡充の状況

中計戦略目標

就航都市数：130（海外）、20（国内）都市以上

■ 2018年夏ダイヤにおいて、前年夏ダイヤ比で8都市増の133都市となり、開港以来最大

成田空港発 就航都市（経由地含む）

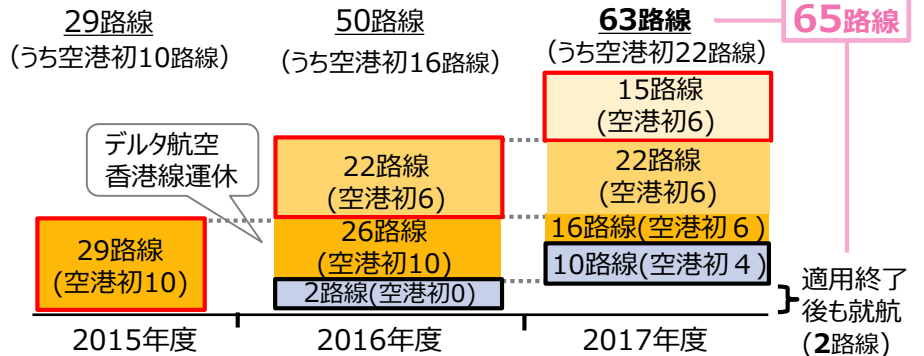
合計 **133** 都市（海外**115**都市、国内**18**都市）



→ 路線誘致活動例（インセンティブの実施状況）

成田ハブ化促進インセンティブ

✓ 国際線ネットワーク拡充（新規就航）割引適用路線と効果



成田空港マーケティングインセンティブ

✓ 2017年度の申し込み状況

	申し込み航空会社数	
	上期	下期
旅客制度	60社	61社
貨物制度	47社	49社

【施策例】 (※)旅客制度・貨物制度を合わせると対象の8割超の申込み

旅客制度	貨物制度
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 成田路線PRのための各地イベントへの参加 ✓ TV、WEB、SNS、ラッピングバス等各種広告の実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 温度ケア貨物取扱量拡大のための定温コンテナの導入 等

リテール事業の動向

中計戦略目標

空港内免税店・物販店・飲食店売上高：1,500億円



- 国際線外国人旅客数の増加やナリタ5番街内ブランドブティック等の通年化、2017年度新規店舗のオープン、販売促進施策の効果等もあり、空港内店舗売上高は前期比で大幅に増加、民営化以降の最高を更新
- 売上を牽引したのは、国籍別売上高シェアで過半を占め、購買単価が高い中国系旅客

商業空間の拡充

「ナリタ5番街」内、ブランドブティック

- 新たに4店舗をオープン
(2016年11~12月)



到着時免税店

- 第1・2・3ターミナルに
合計5店舗をオープン
(2017年9~12月)



第1ターミナル新規店舗スペースの創出

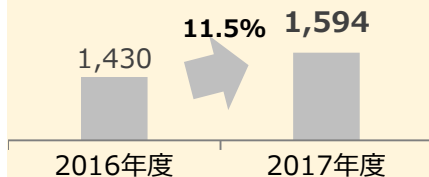
- 出国手続き後エリアに
合計17店舗をオープン
(2017年11月~18年7月)

※2017年度では
6店舗がオープン

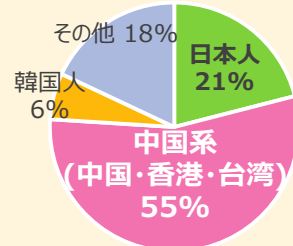


売り上げ動向 (2017年度)

→ 国際線外国人旅客数 (万人)



→ 国籍別売上高シェア



→ 購買単価

(日本人を100とした場合)



※中国系旅客の購買単価推移

(2015年度 (爆買い時) を100とした場合)

2016年度			2017年度		
上期	下期	通期	上期	下期	通期
85	93	89	97	106	102

＜空港内店舗売上高 (前年同期比) の推移＞ (%)

2017年度	上期	3Q	4Q	下期	通期
飲食店	109	108	106	107	108
物販店	103	108	105	107	105
免税店	119	134	127	130	125
総合免税店	114	137	132	134	124
ブランドブティック	140	124	110	117	127
合計	111	120	116	118	115

＜空港内免税店・物販店・飲食店売上高推移＞

→ 民営化以降の最高を更新

